

第78回 神奈川県立上溝高等学校 入学式 校長のことば

春らしい爽やかな風と柔らかい日差しが感じられる陽気となりました。
この春の良き日に、令和5年度 第78回入学式を挙げるにあたり、鳩友会長様をはじめご来賓の方々、ならびに保護者の皆さまのご臨席を賜り、盛大に挙げるできますことを高い席からではございますが、厚くお礼申し上げます。

ただいま、入学を許可いたしました242名の新入生の皆さん、おはようございます。そして、ご入学おめでとうでございます。

皆さんは、本日、112年の伝統ある上溝高校 78期生として新たな人生を踏み出し、その第一歩を迎えられました。皆さんのご入学を心から歓迎します。

これから皆さんは、人生の中で一番、体力もあり、物事を論理的に考え、吸収する力が強い時期を迎えます。そして勉学はもちろん、部活動、諸行事など密度の濃い日々を送ることになります。楽しいこともあります、目標を達成するためには、苦しいことも当然のことながらあるでしょう。しかし、今日ここに、苦しい時には共に手を携え、喜び悲しみを共に分かち合える仲間が集いました。自分の周りを見渡してみてください。

皆さんの周りの友人は、可能性を秘めたダイヤモンドの原石に違いありません。もちろんあなた自身もそうです。しかし、ダイヤモンドの原石は磨かなければ輝かないことは知っての通りです。磨いて、磨いてこれから輝かせていくことが必要です。これから友としてあるいはライバルとして、お互いに助け合い、励ましあいながら成長し、輝きを増していってくれることを願っています。そして、卒業式を迎えたとき、「上溝高校での生活は実に充実した日々だった。」と思わせるようにしてほしいと思います。

人生で一番多感な時期を、素晴らしい仲間たちとここ、上溝高校で過ごせることは何物にも代え難い喜びになると信じています。

さて、本校の「教育理念」は、この入学式のしおりにも書かれています。

**獅子のごとく 勇気をもって進め
撫子のごとく 真心をもって歩め** です。

これは、しっかりと学問を修め、専門性豊かな人、幅広い視野をもった人になろう。
物事に挑戦する強い意志をもち、あきらめない人になろう。
真剣に考え、話し合える人になろう。 という意味があります。

これからの時代は、ますます複雑化、多様化が進みます。さまざまな課題に対応していく時に「勇気」と「真心」が必要だということです。そのための基盤を、ぜひ、この上溝高校で、授業や部活動、学校行事、社会体験等の実体験を通じて培ってください。

インド独立の父ともいわれるマハトマ＝ガンジーが残した言葉に「あなたの夢は何か。あなたの目標とするものは何か。それさえ、しっかり持っているならば、必ずや道は開かれるだろう。」という言葉があります。

皆さんは、夢や目標をしっかり持っていますか。本校に入学したことで目標を達成したと満足してしまっている人はいませんか。入学がゴールではなく、今、スタート地点に立ったのです。気持ちをリセットし、新たな目標に向かって一日一日を大切に日々の活動に取り組んでください。目標が特にないか、今はまだよくわからないという人は、卒業時どのような自分でありたいか、思い描いてみてください。なりたい自分になれるよう、そしてそれが実現できることを目標に過ごせば、何かが違ってくるはずです。

確たる夢や目標があり、達成したいという気持ちを強く持ちながらその実現に向けて必死に取り組む人と、めざすものもなく漠然と一日一日を過ごしてしまう人とは、その積み重ねが大きな差となることは間違いありません。

本物の知性と教養を養い、未来を担う人材として成長していただくことを期待しています。

最後になりますが、保護者の皆さまに申し上げます。お子様の高校受験に際しては、コロナ禍もあり、多くの不安を抱えられていたこととお察しします。大変お疲れ様でした。この度のお子様のご入学を心より祝福申し上げます。

今後、三年間のPTA活動等、これから学校へのさまざまな面で、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

78期生のこれからの輝かしいご活躍を祈念し、校長のことばとさせていただきます。

令和5年4月6日
神奈川県立上溝高等学校長 内田 勝久